

京都大原から鞍馬ハイキング

31 期 高山雅史

ハイキングは年間 3 回の実行予定でした。前回は雨天中止になったので今年は 2 回目で 11 月 15 日（火）に実施しました。

京都大原より江文峠を越えて静原の里に行き、薬王坂（やっこうざか）から鞍馬へ出ました。このコースは京都トレイルの一部にもなっているため標識番号をたどると鞍馬に行けます。

大原の戸寺バス停から集落の舗装路を抜け、あたりの紅葉した山を見ながら江文神社に着きました。鳥居をくぐった奥に本殿がありました。大きな杉林に囲まれ、落ち着いた雰囲気です。

神社から右折して細い道に入るとすぐ石ころの峠らしい急な上り坂が続きます。登りきったところから江文峠に出ました。

一旦車道に出て 100m くらい先で左折して再び下りの山道に入ります。平坦な道よりコンクリートのトンネルを抜け車道を 30 分ほど歩き静原の集落に入ります。落ち着いた集落の中に静原神社があります。

神社の横は公園になっており巨大なイチョウの木と大きなモミジがありました。今年は寒暖の差が大きく、紅葉が 1 週間ほど早いといわれていたためかイチョウの巨木が日に照らされて真黄色に染まっておりすばらしい眺めです。また横の大きなモミジも日の当たった側が真っ赤で裏側が緑できれいな対照をなしていてこれも素晴らしい。まさに秋満喫です。通りがかった守山の夫婦やスクーターの高齢の 2 人の女性も感激の面持ちで見上げていました。

ゆっくり昼食の後、集落のくねくねした道を通り薬王坂（やっこうざか）に向かいました。伝教大師最澄が鞍馬で薬王如来の像を造って比叡山へ帰る途中、この坂を通りかかる。その時、目の前に薬王が姿を現したというのが名前の由来です。

薬王坂の入口からは、コンクリート造りで、車の滑り止めの刻みのある急坂を登ると峠道らしい急登の山道になりました。20 分程かけて大木の根元に「薬王坂弥陀二尊板碑」と彫られた石板の在るところまで息を切らしてたどり着きました。南北朝時代の古いものです

さらに急坂の土道を 15 分程かけてやっと薬王峠に着きました。

ここからは全て下り、30 分ほどで鞍馬の地藏寺に着き 5 分ほどで鞍馬寺の石段下でした。

江文峠と薬王坂の 2 回の峠の登りを心配していたのですがゆっくり登ったので何とか無事に行けました。

戸寺から休息入れて約 4 時間のハイキングでしたが、すばらしい快晴で気持ちよく歩けた 1 日でした。

